

災害復旧・復興作業を行う皆様へ

1日でも早い復旧・復興に向けて

災害復旧・復興作業は、損傷を受けた建物の補修や解体、停止した設備の立ち上げなど、**通常の業務とは異なる危険**を伴います。

過去にも、災害復旧・復興工事などに従事した労働者が多数死傷しています。

東日本大震災の復旧・復興作業では、平成25年12月末日までの間で49名の方が死亡、891名の方が負傷（休業4日以上）しており（平成25年の1年間では、12名の方が死亡、182名の方が負傷）、「**墜落・転落**」が全体の約4割を占め、次いで「**はさまれ、巻き込まれ**」、「**飛来・落下**」等の災害が多く発生しました。

皆様のご尽力にかかっています

ひとたび、労働災害が発生した場合、被災労働者やそのご家族の悲しみはもとより、貴重な戦力の欠員は災害復旧・復興作業そのものに大きな影響を与えかねることになります。

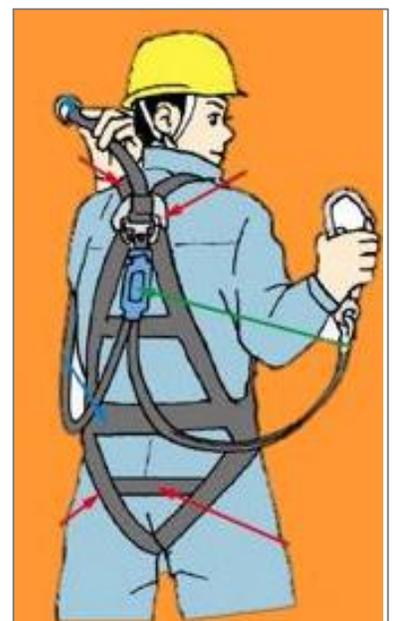
事業主の皆様は、このような趣旨をご理解いただきまして、安全な作業が行われるようご留意願います。

特にご注意いただきたい作業

墜落・転落防止対策について

法面補修、建物補修、解体工事などで高所作業が頻発します。

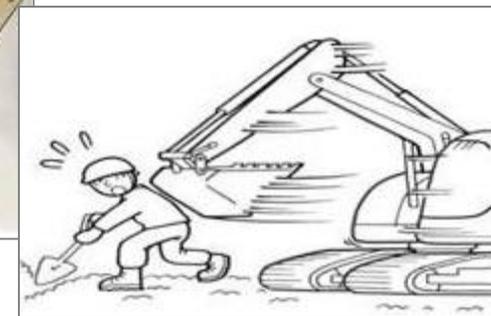
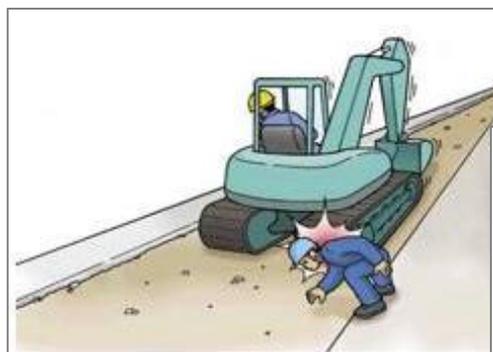
墜落・転落災害を防止するため、**要求性能墜落制止用器具**の確実な使用・**ヘルメット**の着用・**ライフライン**設置等の徹底をお願いします。



重機との接触災害について

解体作業や土木作業では、重機類が活躍しますが、復旧作業現場では作業が錯綜します。

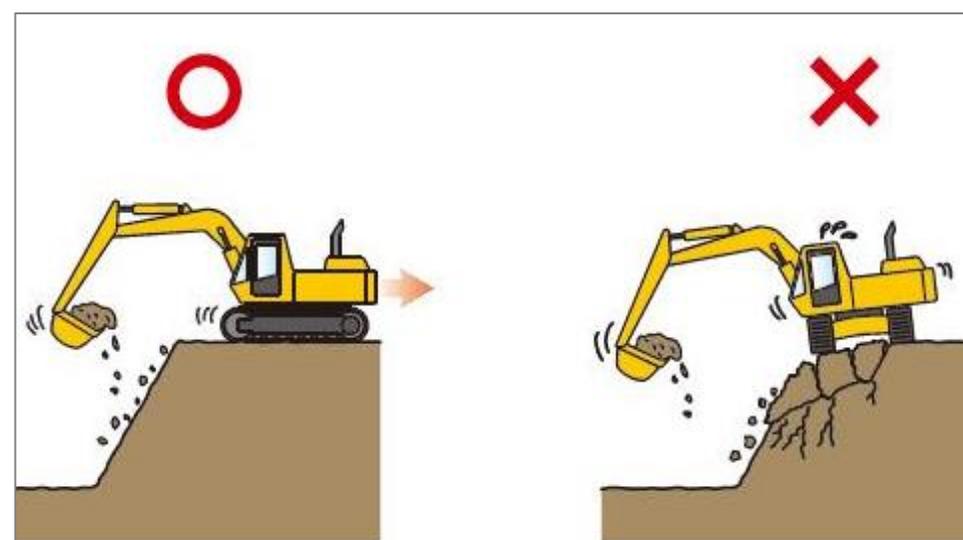
重機との接触を防止するため、**重機の可動範囲の立ち入り禁止措置**や**誘導員の配置**をお願いします。



再崩落にご注意ください

土砂崩落による修復や、崩壊家屋・ブロック塀の解体工事では再崩落の危険があります。

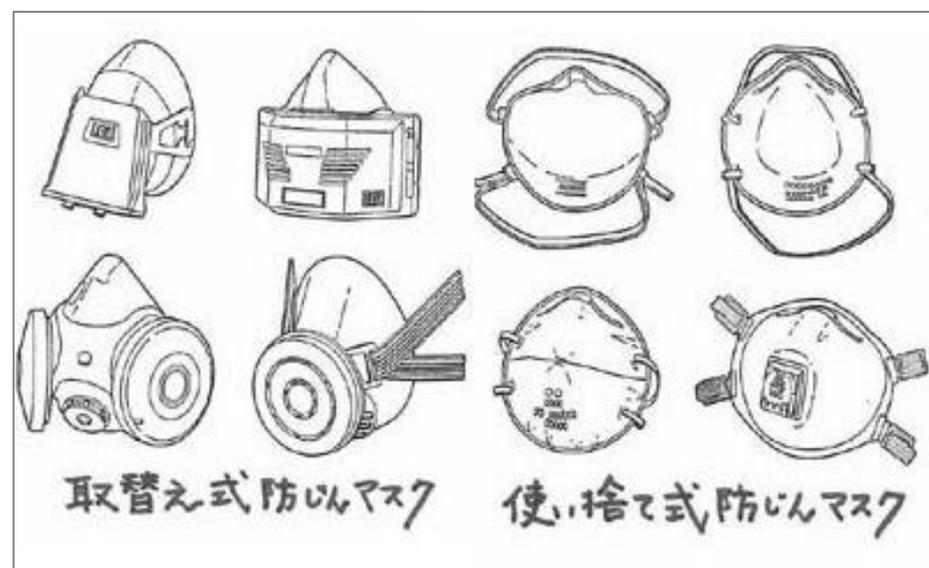
現場状況を確認し、崩落の危険に十分注意してください。



粉じんマスクの着用をお願いします

復旧工事等では、石綿を始めとして粉じん作業が予想されます。

適切な発じん防止や封じ込め対策と併せて、防じんマスクの着用をお願いします。



働く人とその家族のために労働災害防止にご協力をお願いします

〈主唱者〉

日立労働基準監督署

一般社団法人日立労働基準協会

〈協賛者〉

建設業労働災害防止協会茨城県支部日立分会

陸上貨物運送事業労働災害防止協会茨城支部日立分会

陸上貨物運送事業労働災害防止協会茨城支部県北分会

港湾貨物運送事業労働災害防止協会東京総支部日立分会

林材業労働災害防止協会茨城支部日立分会